

環境省は22日、ペットとして人気の高い北米原産の外来種ミドリガメ（ミシシッピアカミミガメ）の写真が、国内の自然界に推定約800万匹生息しているとの調査結果を発表した。野生のミドリガメの生息数が明らかにするのは初めて。

同調査によると、北海道や南西諸島を除く全国に、甲羅の長さ10センチ以上のミドリガメ790万9000匹が生息し、98万匹とされる在来種のニホンイシガメの

# 野生ミドリガメ 国内に800万匹

## 環境省が初の調査

8倍にのぼった。関東平野や大阪周辺など、都市部やその近くの河川やため池に多いとみられる。



ミドリガメが水草のみを食べた場合、毎週約320トの水草が消失することになり、同省は「在来種の生息域を奪うだけでなく、貴重な水生植物が相当損なわれている」とみている。ミドリガメは1950年代からペットとして輸入され、レンコンの芽を食い荒らすなどの被害が深刻で、同省は2020年をめどに輸入を禁止する。